

米田柔整専門学校 同窓会誌 縮刷版

米田柔整専門学校同窓会
〒451-0053
名古屋市西区枇杷島二丁目3番13号
米田柔整専門学校内

同窓会新会長に 平岩一郎前副会長が就任

就任のあいさつ

同窓会会長 平岩一郎



平成三十年
六月十三日の
第一回幹事会
にて長きにわ

たりご尽力くださいました安藤寿一先生に替わり不肖、私を同窓会会長に推挙していただき承認されました。

今後、業界では厳しい状況が続くと思われませんが、米田の誇りを持って進めば、活躍の場を得ることができると信じています。そのためには同窓生相互の親睦、情報共有などによって同窓会が一つ

平成三十年の主な出来事
平岩一郎新会長就任（六月）
男子三位 女子準優勝（八月）
世界形選手権二連覇（十月）

にまとまることが重要だと考えています。

同窓会も各委員、学校の先生方や、事務局の皆様の力を借りて変革の途上にあります。同窓生の皆様の心の支えになり、心の拠りどころとなる同窓会にしたいと思っています。

最後になりましたが、母校と同窓会の益々の発展と皆様のご健勝を祈念し就任のあいさつと致します。

安藤壽一先生退任



平成二十四年から六年という長きにわたり米田柔整

2018世界柔道形選手権2連覇

専門学校同窓会のために多大な尽力頂いて参りました安藤寿一先生がご退任されることとなりました。安藤先生には相談役として今後も同窓会にご支援を賜ることになっております。

十月十六日（現地時間十五日）にメキシコ・カンクンで行われた「世界柔道形選手権」で石田桃子（取）・真理子（受）の姉妹ペアが「柔の形」で昨年に引き続き金メダルを獲得し、大会二連覇を果たした。形は嘉納治五郎の残した文献をどう読み解くかの解釈が審査

にも関わる。そのため姉妹は文献を基に実際に技を掛け合い、動きの研究に長い時間を費やしたとのことである。その技は海外からも高い関心と尊敬を集めている。



男子・女子1部表彰台

第五十一回（公社）全国柔道整復学校協会柔道大会が八月二十二日東京武道館において開催された。本校は男子は第一部で三位、女子は第一部で準優勝の結果となった。男子は本年より一部に再昇格したが、6年ぶりの一部三位となった。女子は決勝戦が代表戦までも

つれ込む、大熱戦での準優勝となった。



第一回柔道救護担当者講習会

一月十四日(日)第一回柔道救護担当者講習会が開催された。演題は一、柔道で起こる重症外傷(頭部、頸部)の病態と症状、対応。全日本柔道連盟医学委員 宮崎誠司先生 二、柔道の試合に必要なルール上の医学的問題(救護の準備に必要な物品や手配すべき事項 本校教員 島大輔先生(伝達講習)であった。宮崎先生の講義では近年クローズアップされている柔道による頭部外傷や頸部損傷について動画をふんだんに使用しわかりやすくご教授いただいた。受講者には受講証が授与された。

石田桃子選手・石田真理子選手 世界柔道形選手権優勝祝賀会

昨年十月七日、イタリア・サルデーニャ島オルビアで行われた二〇一七年世界柔道形選手権において、石田桃子(五四期)・真理子(五八期)姉妹ペアが、「柔の形」で初出場・初優勝を果たし世界の頂点に立った。一月一四日(日)午後五時から七時まで同窓会主催で、キャッスルプラザホテル三階

孔雀の間にて、上記祝賀会が行われ、東海柔道連合会会長をはじめ、各地から多くの来賓、卒業生、学生ら一二五名が参加し姉妹の快挙を祝福した。



第三一回卒業生コミュニケーションセミナー開催

三月一八日(日)米田柔整専門学校において、第三一回卒業生コミュニケーションセミナー(同窓会共催)が開催された。講師に東海大学武道学科 教授の宮崎誠司先生をお招きし、物理療法について講義をしていただいた。物理療法の歴史から始まり、効率よく物

理療法を行うための考え方や各種物理療法の特徴の解説などを非常にわかりやすくお話ししていただいた。日本ベテランズ国際柔道大会にて本校教員健闘

五月二七日(日)愛媛県武道館で開催された日本ベテランズ国際柔道大会に本校教員の吉田先生と堀田先生が出場した。結果は、M3(40~44歳)の100kg超級で、吉田先生が金メダル。M2(35~39歳)の66kgで、堀田先生が銀メダルの好成績であった。



愛知県柔道整復専門学校柔道大会 四連覇

六月三日(日)愛知県武道館に

て、第11回愛知県柔道整復専門学校柔道大会が行われた。本大会は白帯3人、女子1人、黒帯3人の7人制の団体戦である。県内4校によるリーグ戦で争われた結果、3勝を上げ、見事、大会4連覇を達成した。

合同就職説明会開催

六月九日(土)接骨院や病院、介護施設等の合同就職説明会が実施され、三年生七八名、二年生八名と多数参加した。同窓会委員の先生方も企業側として参加され、熱を入れた説明に学生も真剣に耳を傾けていた。



「柔道とは、柔(やさ)しい道である。」発刊

六月二八日にベースボールマガジン社より、米田實先生と東海大学体育学部教授宮崎誠司先生との共同執筆による「柔道とは柔(やさ)しい道である。」が発刊された。お二人は全日本柔道男子チーム帯同医師を経験し、オリンピックにも帯同している柔道に大変精通した医師である。柔道とは、一般的にはどうしても「危険」、「ケガが多い」というイメージが強いが、本来は安全なスポーツで、「柔(やさ)しい道」であることが述べられており、これから柔道を始めようとしている方や、柔道整復師をはじめとした医療従事者にとっても大変興味深い内容となっている。



「アイアンマンNo.3」セントレア
知多半島ジャンボ救護に参加

七月二日、本校の学生一五名(教員二名帯同)が愛知県柔道整復師会の先生方の協力のもとアイシングやストレッチなど救護活動を行った。この大会はトライアスロンの世界大会であり水泳 swim 1.9km、自転車 bike 90.1km、マラソン run 21.1km 合計113.1km これをマイルに換算すると70.3マイルになるとのことである。合計四〇〇名以上の選手が救護テントを訪れ、外国人選手を相手に学生も慣れない英語やボディランゲージも使いながら奮闘した。



また八月二五日と二六日に開催された「全日本マスターズハンドボール大会」の救護活動補助にも本校学生が参加した。愛知県柔道整復師会の先生方の技術や判断を間近で見ても、感じる事ができ、選手とのふれあいを含め、かけがえのない二日間となった。

同窓会主催稽古会

七月二日、午前十時から米田柔整専門学校同窓会主催の夏季稽古会が開催された。愛知県柔道連盟会長である河原月夫先生(幻のモスクワ五輪代表。無差別の全日本柔道選手権でも準優勝)も来場され、学生たちに投技の原理についてレクチャーをしていただいた。



第三十三回卒業生コミュニケーション
セミナーおよびやわらちゃん
体操教室開催

八月十九日(日)米田柔整専門学校において、第三十三回卒業生コミュニケーションセミナー(同窓会共催)が開催された。東海大学武道学科 教授の宮崎誠司先生に、実際のスポーツ現場での様々な経験の中から、『現場での判断!診て聴いて触って評価して記録することの重要性』と題して、お話をしていただいた。我々も日頃行っている問診、視診、触診をスポーツの現場で活かすポイント、選手との信頼関係の築き方などをご教授いただいた。

同日、午後一時三十分よりJCHO 東京メディカルセンター整形外科 医長の紙谷武先生、東京都保健医療公社 東部地域病院 外科 医員の柵山尚紀先生をお招きして、転倒予防を目的とした「やわらちゃん体操教室」が米田道場にて行われた。冒頭で転倒による寝たきりのリスクや下肢筋力とバランス感覚の低下が転倒に繋がることなどをスライドで分かりやすくご説

明していただき、その後は、柔道経験が豊富な先生方が考案された柔道の立ち技を用いた転倒予防体操や方が一転倒してしまった場合でも大きなケガをしないための受け身の練習、それに下肢筋力向上のためのスクワット運動をスロートレーニングで行う方法などを教えていただいた。

認定実技審査2ステーション制に

十一月十一日(日)認定実技審査が行われた。認定実技審査は数年一度審査制度の改革が行われているが、本年度から会場が2ステーション制となり今までの認定実技審査とは大きく変わった。第1ステーションでは「診察及び整復の能力」、「診察および検査の能力」のどちらかの実技審査であり、肩関節脱臼や肘内障の整復などの実技を行い、5分以内に終了した者のみ口頭試問に移ることができ

加わり、より実戦に近い形の実技となった。

平成三十年米田柔整専門学校柔道部活動報告会開催

十二月二日(日)午後六時から午後七時四十分まで、キャッスルプラザホテル四階「梓の間」にて、米田柔整専門学校柔道部の主催、米田柔整専門学校同窓会の後援で、平成三十年米田柔整専門学校柔道部活動報告会が開催された。

卒業生リレーコラムについて

本年は河邊俊博選手、前田一選手、額綱和輝選手、堀田篤選手の四名の選手にご執筆いただきました。是非米田柔整同窓会ブログをご覧下さい。ご執筆していただいた先生方お忙しいところありがとうございました。タスキを渡されたいです。

平成三十年度幹事会について

六月十三日米田柔整専門学校同窓会幹事会が開催された。二九年度事業報告・決算報告、会計監査報告、三〇年度事業計画案・予算案、役員変更案の審議を行い、賛成多数で原案通り可決された。